

「南九州市立清水小学校の史跡めぐり活動の取組」

1. 学校名	南九州市立清水小学校
2. 学年・人数	5 学年・2 名
3. 日時・場所	史跡めぐりの日時・場所 令和6年4月21日（日） 9：00～11：30 清水地区公民館（せせらぎ館）及び校区内史跡 ほうこういんあとにおうぞう 宝光院跡仁王像 きよみずまがいぶつ 清水磨崖仏 きよみずそうとうぐん 清水層塔群 きよみずさくらもと 清水桜元 ねんぶつあと のかくれ念仏跡 きよみず ち く すいろ 清水地区水路 他
4. 活用に取り組んでいる史跡の名勝・時代・特徴について	(1) 市指定文化財（史跡） 宝光院跡：鎌倉～江戸時代 層塔群：鎌倉時代 (2) 県指定文化財 清水磨崖仏：平安時代末期～明治時代 (3) 特徴 清水小学校校区内には、名水百選の湧水をはじめとする豊かな自然と清水磨崖仏や宝光院、層塔群など県指定史跡や市指定史跡が数多く残る地域である。宝光院は、清水地区にあった真言宗の寺院であり、この地を治めていた河辺氏の菩提寺とされていた寺院であり、清水磨崖仏を管理していたとされる。廃仏毀釈により壊され、参道入口近くにある仁王像についても、腕を損壊されているが、当時の面影を残している。 清水磨崖仏は、万之瀬川上流、清水川右岸壁に屏風のように切り立った溶結凝灰岩に、五輪塔や宝篋印塔、梵字、仏像など 200 基が彫刻されている県の指定史跡である。平安時代後期から明治時代にかけて創られ、鎌倉時代中期の「月輪大梵字」は、大きさだけでなく、字の美しさでも日本を代表するといわれている。
5. 活用の取組において地域との連携や工夫した点等	例年、市文化財課や地区公民館と連携し、地区内の文化財探訪、発掘活動などを行っている。今回は、市文化財課が行う史跡保存についての現状や資料をもとにした校区内の史跡に関する新しい見知の紹介、地名から分かる清水地区の成り立ちなどを紹介していただき、実際に歩いて見て回る活動を行った。
6. 取組の様子（研究発表等）	別紙の通り
7. 感想・意見 (参加児童生徒・保護者・保存会・教員等)	- 地区公民館内で、史跡の写真を見ながら、地区内の史跡に関する説明をわかりやすくしていただいた。いつも見慣れている風景だと思っていたが、歩いてみることで新しい発見があり面白かった。 - 学校の玄関前に長年置かれている溶結凝灰岩で創られたものは、これまで建造物の柱を支えてきた「束石」と考えられてきたが、墓の一部「骨壺」ではないかとの新たな見解も教えていただき、興味深かった。 - 史跡めぐりをしました。新しい発見や知らなかった隠れ念仏の洞穴などを見たり知ったりすることができてとても勉強になりました。 - 自分たちがまだまだ知らない史跡が清水にはあると思うので、これからも調べていきたいです。

